

あかなじちしんこうきょうぎかい

赤名自治振興協議会 【飯南町】

■活動の概要■

「雪が舞う、花が舞う、赤名の町に人が舞う」住みよい赤名を目指す地域福祉活動

■活動の内容■

- ・少子高齢化による戸数の減少、一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増加しているなか、5年後10年後の集落組織の充実を目指し、協議会を立ち上げました。
- ・高齢者が中心となったプランターの花を育て町を彩る活動、自然を生かした子ども活動「雪ん子まつり」「やまめのつかみ取り」、医療福祉の専門家を招いての健康教室、健康づくりのグラウンドゴルフ大会、一人暮らしの男性を助ける「男性の料理教室」を実施しています。
- ・2カ所の自主サロン活動も定着しています。
- ・高齢者世帯への雪かきボランティアも計画しています。
- ・今後も定着した活動を継続し、より互いに知り合い、支え合いやすい環境を整えていきます。

■活動の様子■



健康づくり「グラウンドゴルフ大会」



環境美化花づくり「街並みに彩りを」



異世代交流「ヤマメのつかみ取り」



雪かきボランティア「スノーヘルパー」

| | |
|----------------|---|
| 団体名(よみがな) | 赤名自治振興協議会(あかなじちしんこうきょうぎかい) |
| 代表者(よみがな) | 景山 治(かげやま おさむ) |
| 団体の種類 構成員数等 | <p>■1自治会・町内会等(世帯数)181世帯</p> <p>□2ボランティア団体、NPO等(構成員数)</p> <p>(団体の名称:)</p> |
| 活動の概要 | <p>飯南町の南に位置する赤名地区は、現在、181世帯、413人、高齢化率40.9%(65歳以上169人)。</p> <p>当地区は古来、山陰と山陽を結ぶ要所として栄え、商業中心の地域であった。また、中国山地の中央部にあり、積雪が多いことでも知られる。観光ボタン園やリンゴ園がある。現在少子高齢化も進み、空き家も増えてきているが、「雪が舞う、花が舞う、赤名の町に人が舞う」をキャッチフレーズに子どもからお年寄りまでが住みよいと思える赤名となることを目指し、地域活動に取り組んでいる。</p> <p>平成16年12月、少子高齢化による戸数の減少、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増える中、5年後10年後の集落組織の機能を充実させるため、それまで自治会単位で活動してきた上市・中市・下市・衣掛団地の4地域が一つとなり、全住民を会員とした「赤名自治振興協議会」を結成、一体感を生み楽しい活動への取組を始め現在に至る。</p> <p>結成当初は、これまでの河川清掃等自治活動が中心であったが、総務部、事業部、福祉部の組織により話し合いを進め、年を追うごとに主体的な活動も増え、高齢者が中心となりプランターの花を育て町を彩る活動や、自然を生かした子ども活動「雪ん子まつり」「やまめのつかみ取り」、医療や福祉の専門家を招いての健康教室、健康づくりのためのグラウンドゴルフ大会、一人暮らしの男性のくらしを助ける「男性の料理教室」も行う。近年は地域内の2カ所で自主サロン活動も定着、今年が高齢者世帯への雪かきボランティアも計画されており、地域の福祉向上の活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、「半夏まつり」「流雪溝の清掃」「防災訓練」等商工会、行政、公民館からの要請にも協力し、地域振興、自治組織の向上に寄与している。</p> <p>今後も一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増え、地域自治を担う若い世代も減少する中、隣近所より近い家族的な支えと、空き家も増える中、隣近所からより広い範囲での支え合いが必要となる。より広い範囲でより近く支え合う風土づくりを醸成するため、定着してきた活動を継続し、より互いに知り合い、支え合いやすい環境を整えていくことが必要となる。</p> |

■活動地域

